

川崎市川崎区民間活用事業者選定評価委員会 東海道かわさき宿交流館部会会議録

日 時	令和8年 7月21日（火） 15時30分～16時50分	場 所	川崎区役所10階 オンライン会議スペース
出席者	委 員 新井委員、垣内委員、鈴木委員		
事務局	総務課 小寺課長、柿崎担当係長、二ノ宮職員 地域振興課 依田課長、外山係長、川田職員		
傍聴者	2名		
議 題	1 東海道かわさき宿交流館の管理運営業務に係る令和7年度評価について（公開） 2 その他（公開）		
総務課長	開会 ・オンライン会議システムを使用した会議の開催方法について説明 （3名中3名がオンライン会議システムを使用して出席） ・委員3名中3名出席により会議の成立を確認 ・会議の公開・非公開 ⇒「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、公開とすることで決定 ・会議録の作成 ⇒「要約方式」で作成することで一同了承 ・会議録の確認者 ⇒委員全員により確認することで一同了承 ・会議録に委員名が記載されること、文書開示請求等があった場合に委員名が原則開示となることを確認 ・配布資料の確認 ・委員の紹介 ・委員及びその家族が指定管理者と利害関係がないことを確認 ・部会長の選出（委員の互選により垣内委員が部会長）		
総務課長	議題1 東海道かわさき宿交流館の管理運営業務に係る令和7年度評価について ・民間活用事業者選定評価委員会では、所管課が行った令和7年度1年間の評価について、その評価内容が妥当であるかどうかを審議することを説明 ・年度評価シートの評価段階について説明		
垣内部会長	本委員会は、「所管課が行った評価が妥当であるかを判断すること」が目的となっているので活発な議論をお願いしたい。 それでは、令和7年度の年度評価についての説明をお願いします。		
地域振興課	<資料1「令和7年度東海道かわさき宿交流館事業報告書」、資料2「令和7年度東海道かわさき宿交流館年度評価シート」、資料3「令和7年度東海道かわさき宿交流館収支状況等確認シート」及び資料4「東海道かわさき宿交流館指定管理仕様書」に基づき説明>		

川崎市川崎区民間活用事業者選定評価委員会 東海道かわさき宿交流館部会会議録

	・審議の開始 ・全体について質問等
鈴木委員	利用者満足度のところで、満足度 94.2%という数字があるが、アンケートはどれくらいの数を取っているか。
地域振興課	アンケート数は 400 件強となっており、来館者数と比較すると 1 %弱程度である。
鈴木委員	来館者数に対してどの程度の回答があったのかを記載いただくと分かりやすい。
垣内部会長	400 件を超える回答であれば一定程度の信頼度がある。満足度だけでなく回答数も記載いただくと説得力が増すと思われるため、追記をお願いしたい。
新井委員	収支全体としては昨年度と同様の評価であり、収支差額の金額的にも大きな問題は見受けられないが、物価上昇等の厳しい状況の中で運営されている点も踏まえる必要がある。その状況下で、事務職員を増員した効果がどの評価項目で反映されているのか。
地域振興課	収入の確保を「4」としたのは、これまでの累積黒字を活用して補填したことを評価した。また、電気・水道等の物価の高騰に対しては、市全体の考え方として、高騰した部分について補填を行っている。 増員した職員については、組織管理体制の適正な人員配置の項目で評価している。
垣内部会長	評価理由の文章を読むと、収入を確保したというよりも、積立金を活用して Wi-Fi 整備を行いサービス向上を図ったことを評価しているように感じられる。どちらかといえば効率的・効果的な支出を評価したほうがよいのではないか。
新井委員	物価高騰など、厳しい環境の中で効率的・効果的に支出をコントロールしたという方が自然である。現状の文章を読むと、確かに支出を「4」で収入が「3」の方が分かりやすい。
地域振興課	ご指摘のとおり、記載内容との整合性を考えると、効率的・効果的な支出を「4」、収入の確保を「3」とする整理が妥当と考えます。
鈴木委員	例えば、収入確保の項目に記載されている関連グッズの販売についても、どれだけ収入増につながったかわからない。その一方で、積立金を活用し、Wi-Fi 整備を行いサービス向上に寄与した効率的な支出を評価し、支出を「4」、収入を「3」とした方が分かりやすいと思います。

川崎市川崎区民間活用事業者選定評価委員会 東海道かわさき宿交流館部会会議録

垣内部会長	それでは収入を「3」、支出を「4」へ評価を入れ替えることとしたい。
垣内部会長	サービス向上及び業務改善の記載に関連機関との連携とあるが、こういった機関との連携なのか具体例があると分かりやすい。
地域振興課	川崎市観光協会や川崎市文化財団であり、これらが持っている強みを活用し、施設の周知や情報発信などを行っている。
鈴木委員	この施設の目的は、川崎宿の歴史や文化を伝えることが中心かと思うが、地元小学校との連携など、必ずしも川崎宿の歴史とか文化に直接関係無いようなことも行っているが、今後の施設の活用として、川崎宿の歴史・文化を伝えることが中心なのか、それとも地域交流拠点としての役割を重視しているのか、市と指定管理者との共通の目標はあるのか。
地域振興課	川崎宿の歴史や文化を伝えることに加え、川崎駅周辺のにぎわいや地域の方々が東海道川崎宿に限定せず、地域の活動を行う上での交流の拠点、活動支援を行っていくことを指定管理者とは話をしている。
垣内部会長	条例でも歴史や民俗等の資料の展示と市民相互の交流の推進の双方が目的とされている。文化と交流の両方を担う施設と理解している。
鈴木委員	東海道川崎宿周辺まちづくり会議への関わりについて、施設がどのような役割を果たしているのかわからないため、説明があると分かりやすい。
地域振興課	例えば、東海道川崎宿周辺まちづくり会議から取組が始まったコーヒープロジェクトへの助言や伴走支援、人的ネットワークを活用した関係者紹介などのコーディネート役割を担っている。
垣内部会長	そうしたコーディネートや専門的な立場からこれまでの知見を踏まえて助言を行ったなど、具体的に分かるように記載した方がよい。
鈴木委員	今後、発展的に進めていくのであれば、施設がどのような位置付けで関与していくのかを文書等で明確化することで、よりポジティブな展開になるのではないかと。
垣内部会長	7の指導事項にも、東海道川崎宿周辺まちづくり会議での活動を通じて、人材発掘や地域企業との連携強化、まちづくりの拠点となるコーディネート機能の強化というような記載があるため、ここの記載については実態に合わせて追記をお願いしたい。

川崎市川崎区民間活用事業者選定評価委員会 東海道かわさき宿交流館部会会議録

鈴木委員	6の全体的な評価のところにインバウンド対応のため、Wi-Fi 設置などを行ったとの記載があるが、全体の来場者のうち、外国人はかなり少ないということなので、インバウンド対応ではなく、むしろ日本人対応ではないか。実績や根拠に基づいた記載があった方がよい。また、多言語翻訳機の説明もあったが、本当に有効なものだったのか、今後、チェックしたほうがよい。 インバウンド対応を含め、今後、この施設をどういう戦略で打ち出していくのかについていうところも検討課題になるのではないかな。
垣内部会長	10年後の交流会についてというテーマを検討する中で、いろいろなことが議論され、特にインバウンド対応について記載されたんだろうと思うが、委員の指摘事項も踏まえ、議論の全体像が伝わるよう記載を修正していただきたい。
垣内部会長	令和7年度の評価については、評価段階の一部入れ替えと指摘事項を踏まえた記載内容に修正することで承認してよいかな。 ⇒＜一同了承＞
総務課長	議題2 その他 特になし。
総務課長	閉会 ・閉会の挨拶 ・今後の流れ等について説明